

2. 指標設定

成果指標	指標名	社会福祉の増進		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			民生委員が市民に必要な援助を行うことにより、社会福祉の増進に寄与できる			
活動指標	指標	a	年間活動件数	b	年間活動日数	c	d	
	数値	目標	—	目標	—	目標	目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
社会福祉の増進		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 年間活動件数	件	5,190 件	5,729 件	4,202 件
b 年間活動日数	件	20,929 件	21,998 件	20,007 件
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
社会情勢の変化等に伴い、民生委員の業務は複雑多岐にわたり、業務量も増加している。
対応（改善点等）
民生委員として担う業務に専念していただくために、市等からの業務依頼を精査する。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

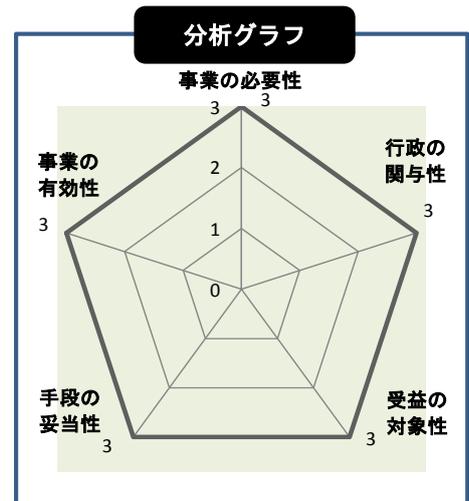
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		18,457	18,727	18,676	18,576
うち経常経費		18,457	18,426	18,676	18,576
財源内訳	国費				
	県費	10,462	10,462	10,476	10,461
	市債				
	その他				
	一般財源	7,995	8,265	8,200	8,115
うち経常		7,995	7,964	8,200	8,115
事業費に係る人件費		11,180	10,047	9,066	8,161
事業費に係る人役		2.60	2.34	2.08	1.84

6. H27年度予算の方向性

方向性
減額
理由
業務量が増加する中、活動補助金の減額は厳しいが、市単独分について精査する。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 民生・児童委員は、地域住民と行政のつなぎ役として不可欠である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により市が実施主体である。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 すべての市民。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 民生・児童委員の資質の向上や活動が地域福祉の増進につながる。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 活動の充実により、地域福祉の増進に寄与している。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
見直し	市単独補助金の見直しを行うこと。